歯学部附属歯科技工専門学校
令和6年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえ、その達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、その結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による学校関係者評価を受け、学校として組織的・継続的な改善を図ることにより、教育水準の向上を図ることを目的とする。

2 実施概要

① 自己点検・評価の実施

歯学部附属歯科技工専門学校（以下「本校」という）において、点検・評価項目を4項目設定した。

本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を作成した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

<点検・評価項目>

① 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。
② 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。
③ 学生相談に関する体制は整備されているか。
④ 【重点目標】学生の募集活動における社会人への情報提供等の取組は適正に行われているか。

② 学校関係者評価の実施

(1) 学外評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。

(2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。

(3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」に取りまとめるとともに、以下の4段階により評価した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

(4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価

報告書」にて評価結果（総評）を作成した。

3 学外評価者

① 卒業生

飯沼 邦秀 （昭和 60 年歯学部附属歯科技工専門学校卒業生）

② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

石川 功和 （東京都歯科技工士会会長）

③ 地域住民

椎名 芳江 （元歯学部附属歯科技工専門学校教員）

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第 1 回 令和 6 年 10 月 24 日（木）午後 4 時～午後 4 時 30 分

② 第 2 回 令和 6 年 11 月 14 日（木）午後 6 時～午後 9 時

③ 第 3 回 令和 6 年 12 月 12 日（木）午後 3 時 58 分～午後 4 時 25 分

5 評価結果（総評）

多様な学生が増えている中で、専任教員の数が足りているとは考えられず、不測の事態が発生する前に何らかの対応が必要ではないかと思う。

現在は 3 名の専任教員で学生の色々な問題を共有し対応していることは評価しなければいけないが、負担も大きいことが見て取れる。

また、設備等への改善について、入学者の確保や就職先のニーズへの対応，国家試験対策と多方面で必要不可欠であるため，次年度に 3D スキャンや CAD ソフトウェアが新たに導入されることは評価できる。入学者の確保ができれば教員の増員も必須になるのではないかと思う。

以 上